

iDEA

**障害者用インターネット利用環境
オーダーメイド & オンラインサポートサービス**

2013年9月19日

**イデア・フロント株式会社
内 田 齊**

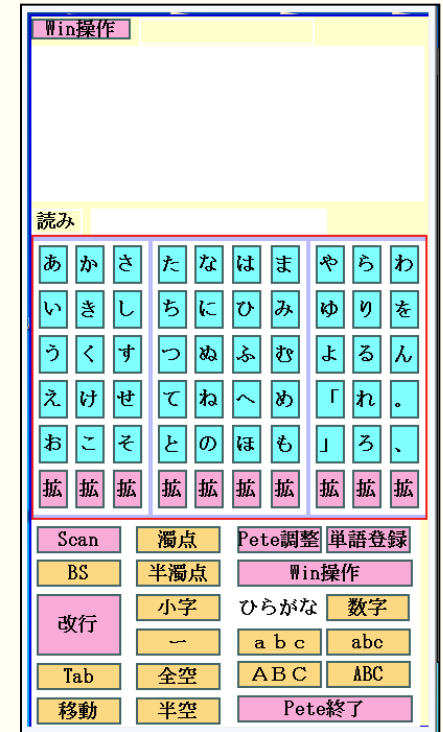
Peteとは

- 2001年から提供している、肢体不自由者のPC入力・操作支援ソフト。
- オートスキャン利用に適した専用ブラウザを搭載し、肢体不自由者のインターネット利用を支援。
- 多様な操作方法に対応し、各種要素を調整・変更可能なため、幅広い条件のユーザーが利用できる。登録ユーザー数は約1200名。



Peteの利用上の課題

- Peteはインターフェイスの多くの要素について、細かい調整や変更(フィッティング)が可能。
- しかし、本格的なフィッティングにはある程度のプログラミング知識が必要。
- カスタマイズをユーザーやボランティアに頼るのは限界があり、知識のあるスタッフが対応するカスタマイズサービスが必要。



<参考> キーボード定義ファイルの例

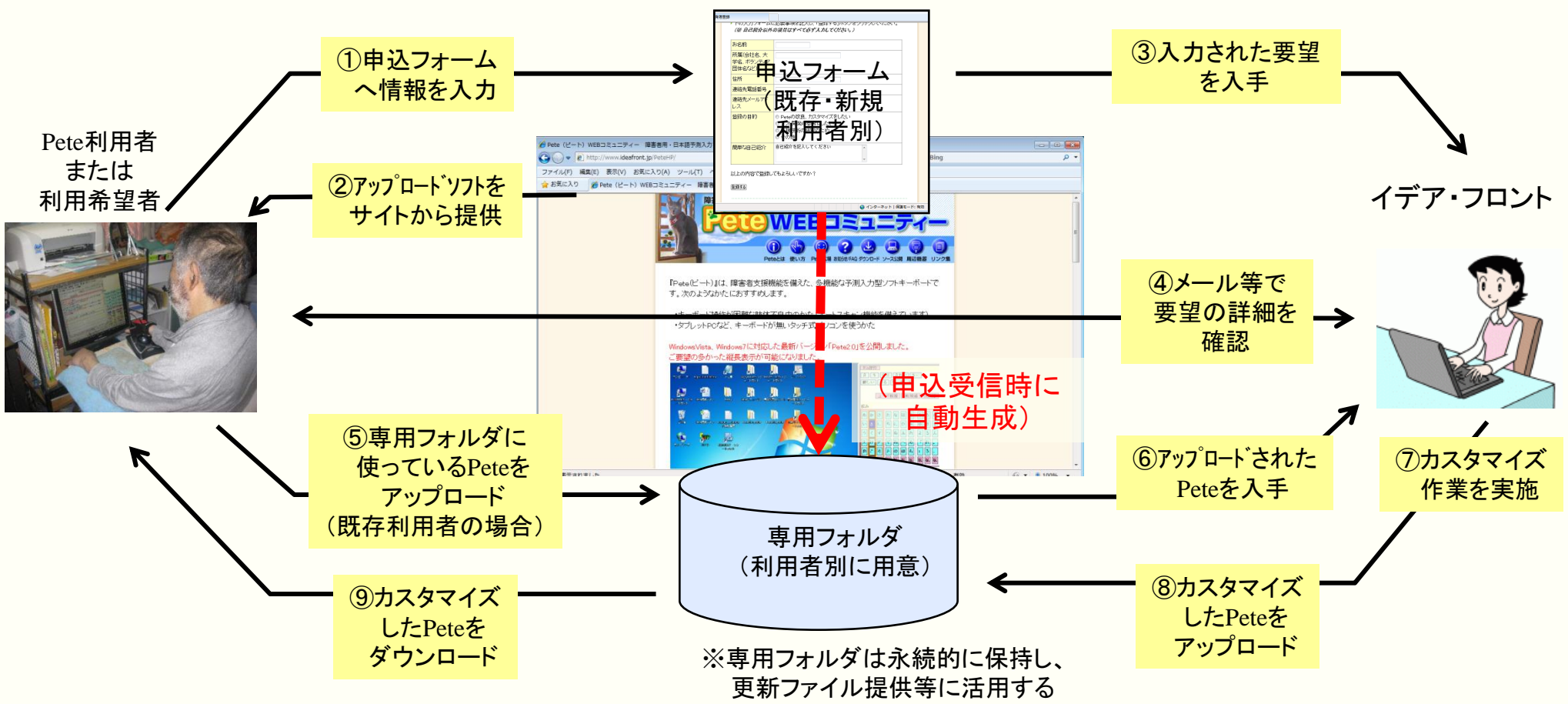
- キーボードのレイアウト変更のためには、このような設定ファイルを編集・変更する必要がある。

```
# あ行
Key(71){ Type=3 Parent=13 Name="あ" x=0 y=0 cx=5500 cy=3740
  Colorset=2 Visible=1
  onSelected="AddRead(あ)" }
Key(72){ Type=3 Parent=13 Name="い" x=0 y=3740 cx=5500 cy=3740
  Colorset=2 Visible=1
  onSelected="AddRead(い)" }
Key(73){ Type=3 Parent=13 Name="う" x=0 y=7480 cx=5500 cy=3740
  Colorset=2 Visible=1
  onSelected="AddRead(う)" }
Key(74){ Type=3 Parent=13 Name="え" x=0 y=11220 cx=5500 cy=3740
  Colorset=2 Visible=1
  onSelected="AddRead(え)" }
Key(75){ Type=3 Parent=13 Name="お" x=0 y=14960 cx=5500 cy=3740
  Colorset=2 Visible=1
  onSelected="AddRead(お)" }
Key(76){ Type=3 Parent=13 Name="拡張" x=0 y=18700 cx=5500 cy=3740
  Colorset=11 Visible=1
  onSelected="Command(Hide[10]) Command(Show[33])
  Command(SetKeyboard[33]) SelectKey(33)" }
```



想定するオンライン・オーダーメイドサービス

- カスタマイズをオーダーしたユーザー一人一人の専用フォルダをサーバに用意する。
- この専用フォルダを介して、カスタマイズの注文、使用中のPeteの設定ファイル、カスタマイズしたファイル等をオンラインでユーザーとやりとりする。
- このしくみは、そのまま各ユーザーに対する継続的なオンラインサポートサービスに活用していく。



実施したカスタマイズ

- 昨年度は以下のようなリクエストに対応した。

操作予測アプリケーションの追加

1	一太郎(最新版)
2	iTunes
3	PowerPoint
4	はがき作成キット
5	Microsoft Office 2013
6	はがき作成キット
7	Becky !
8	Googleクローム

キーボードの変更

9	キーボード配色変更
10	五十音を右から配置したキーボード
11	一部キーグループの配置を変更したキーボード
12	Spaceキーの配置変更・追加
13	Peteブラウザ呼び出しボタンの配置変更
14	幅サイズの小さいキーボード
15	Excel高度操作用キーボード

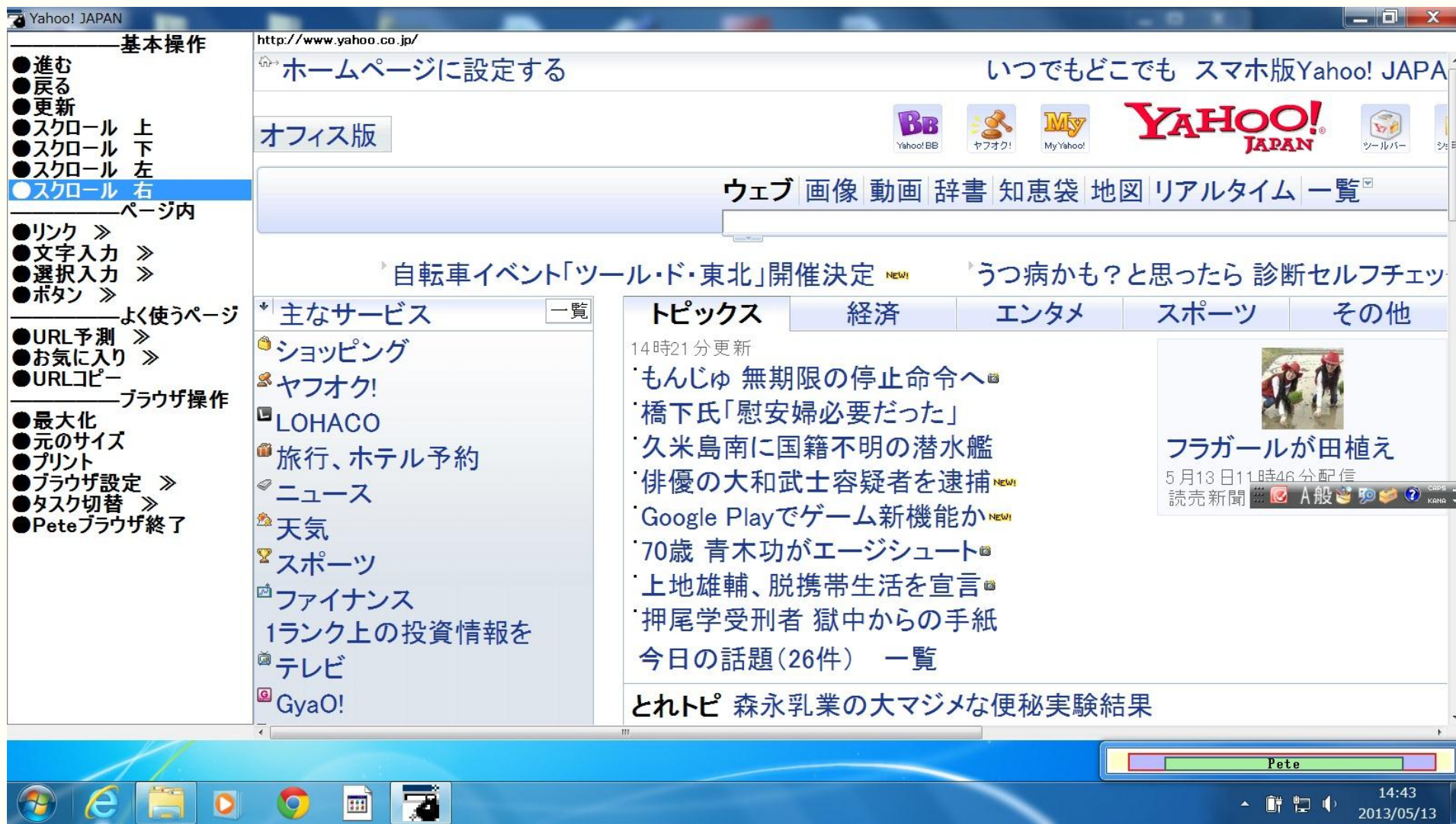
プログラム修正

16	Peteブラウザの横スクロールメニュー追加
17	Peteブラウザのスクロール幅設定
18	長文入力時のエラー発生への対応

Windows8対応

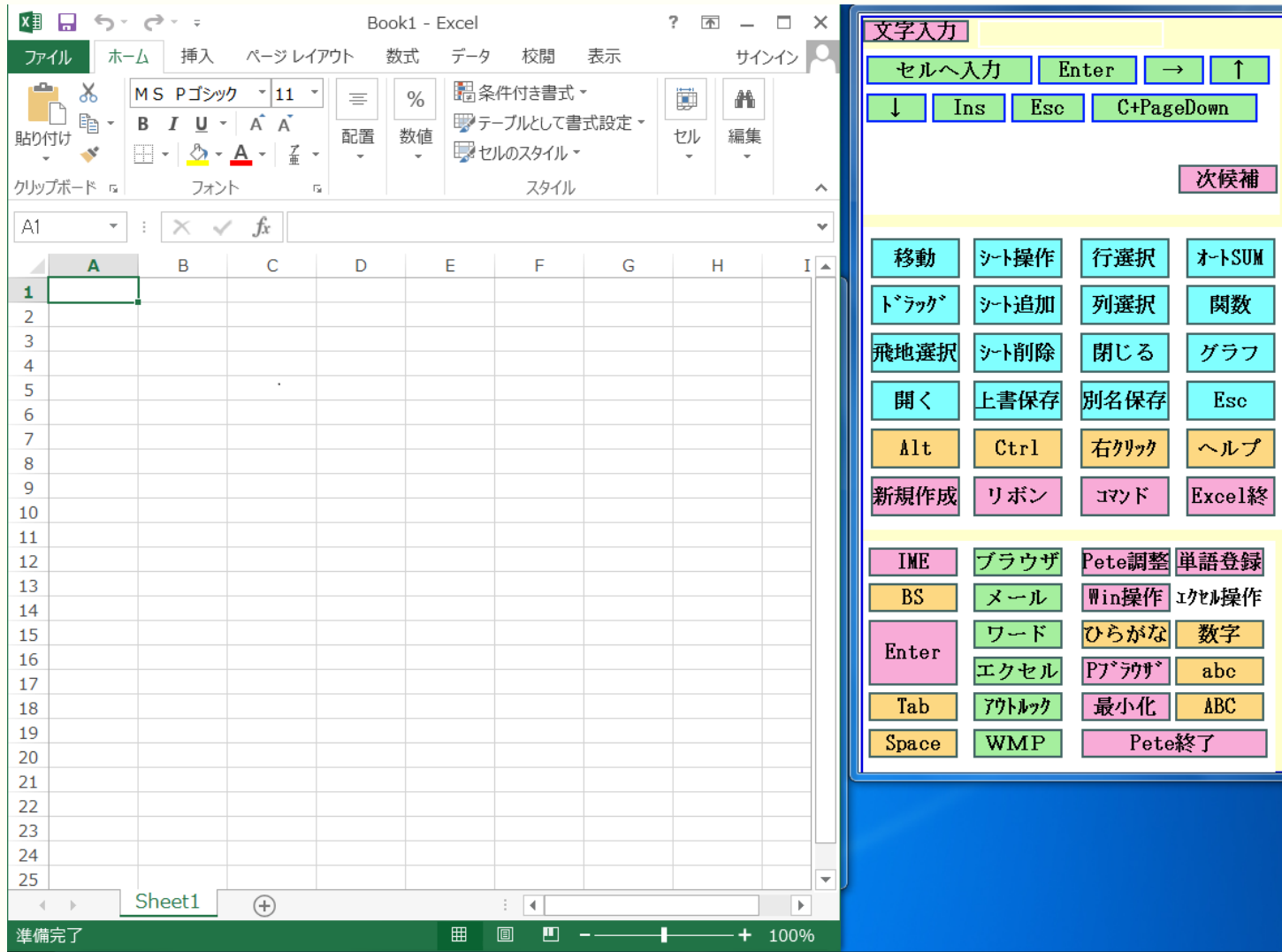
19	PC立ち上げ時のメトロ画面のスキップ
20	Pete終了時のエラー対応

カスタマイズの例 Peteブラウザのスクロール機能強化



カスタマイズの例

Excel操作用キーボードの提供



ニーズの理解

- 昨年度のユーザー訪問、ユーザーアンケートで、重度障害者のPC操作環境が変化していることを確認した。
- これらの変化にPeteを対応させることにより、ニーズの掘り起こしが可能。また、この変化を背景にカスタマイズのニーズも生まれる。

①ワンキーマウス等を使った、マウスポインタによる操作が広がっている。

- ・パワーポイント、イラストレータ等のグラフィックソフトの操作も可能になる。
- ・この方法ではできない操作もあり、ソフトキーボード側の工夫が求められる。

②クラウドサービス(ウェブサービス)利用が広がっている。

- ・既にメールは多くの利用者がGメール等に移行。
- ・クラウドサービスの操作予測があれば利用者の利便向上に役立つ。

③コミュニケーションエイドとしての利用にニーズがある。

- ・重度の利用者にとっては「近くにいる人」とのコミュニケーションが難しい。
- ・Peteで入力した文章の音声出力、メッセージ送信が簡単にできれば、手軽なコミュニケーション支援ツールになる。

④タッチ操作対応すれば利用者のすそ野が広がる。

- ・軽度～中度の頸椎損傷者にはPC操作よりもタブレットのタッチ操作の方が簡単。

平成25年度助成申請事業の概要

- 引き続きPeteのカスタマイズサービスを提供しつつ、Windows8対応等で発生している課題に対応する。
- 最重要課題として、外部機関・企業との協力によりPeteの有料パッケージ開発を進め、今年度中に有料販売を開始する。

①カスタマイズサービスの継続提供

- 助成対象期間中は無料サービスとする。
- カスタマイズを行う技術者に、肢体不自由者を積極的に採用。

②最新PC環境への対応

- ATOK2013との連携、Windows8タッチ機能対応等を行い、利用者の幅を広げる。

③クラウドサービス操作対応(高機能版Pete)

- 代表的クラウドサービスの操作予測に対応し、高機能版Peteとして提供する。

④Pete有料パッケージ製品の開発と提供

- クラウドサービスを活用した音声合成会話や簡易コール機能を備えたPeteをPCにインストールし、有料パッケージ製品として販売する。

将来的なサービス構想

- Peteを、カスタマイズ提供を標準とするオーダーメイドソフトとして普及させる。
- プログラミング知識のある障害者の中から、Peteカスタマイズ技能者を育成し、カスタマイズサービス担当者として働く場を提供する。
- Pete(またはPeteを搭載したPC)を日常生活用具給付の対象とすることで、少額の利用者本人負担でオーダーメイドのPeteを購入できるようにする。